

授業科目

がん看護学特論II

担当教員名 北島 昌樹、手島 美子、今井 洋介 (非)、 畠山 とも子 (非)	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・ 医療情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

がんの疫学、病態生理、フィジカルアセスメントを含めた診断から集学的治療の有効性・有害事象まで講義する。がんの臨床病期(診断期・治療期・ギアチェンジ期)にある患者・家族が直面しやすい問題について事例を通して専門的な看護支援について考察する。倫理的課題やチームアプローチにおける専門的な看護支援についてもプレゼンテーション、ディスカッションする。

授業の目的

がんの臨床病期(診断期・治療期・ギアチェンジ期)にある患者・家族が直面しやすい倫理的課題、チームアプローチ、家族ケアについてがん治療に関するエビデンスを用いながら専門的な看護支援を修得する。

学習目標

- 1.がんの疫学、病態生理、診断、治療および臨床薬理に必要な基本的な知識・技術について説明できる。
- 2.がんの診断期からギアチェンジ期をたどる患者・家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援について説明できる。
- 3.がん治療期にある患者・家族が直面しやすい倫理的課題と専門的な看護支援について説明できる。
- 4.がん治療期にある患者・家族が直面しやすい問題とチームアプローチにおける専門的な看護支援について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
1	がん臨床病期における患者・家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援 (総論)	講義・ディスカッション
2-1	がん診断期にある患者・家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援 (1)	プレゼンテーション
2-2	がん診断期にある患者・家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援 (2)	事例検討
3-1	がん治療期にある患者・家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援 (1)	プレゼンテーション
3-2	がん治療期にある患者・家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援 (2)	事例検討
4-1	がんの疫学、病態、診断、フィジカルアセスメント	講義 ディスカッション
4-2	化学療法の標準的治療、トレンド、治療効果、	講義 ディスカッション
4-3	臨床薬理の特徴、有害事象の特徴と対策	講義 ディスカッション
5-1	ギアチェンジ期において患者・家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援 (1)	プレゼンテーション
5-2	ギアチェンジ期において患者・家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援 (2)	事例検討
6-1	がん治療期をたどる患者の家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援 (1)	講義
6-2	がん治療期をたどる患者の家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援 (2)	プレゼンテーション
6-3	がん治療期をたどる患者の家族が直面しやすい問題と専門的な看護支援 (3)	事例検討
7	がん治療期にある患者・家族が直面しやすい課題とチームアプローチにおける専門的な看護支援	プレゼンテーション ディスカッション
8	がん治療期にある患者・家族が直面しやすい倫理的課題と専門的な看護支援	プレゼンテーション ディスカッション

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	適時提示する。					
その他の資料						

評価方法

1. 発表と討議参加状況
2. レポート

履修上の留意点

CNSコース必修科目

本科目はゼミごとに臨床事例を作成してプレゼンテーションおよびディスカッションに臨む。

課題レポート:ゼミ終了時に提示

オフィスアワー・連絡先

北島昌樹

kitajima@nuhw.ac.jp

K411研究室 平日13:10-17:00

メールで事前に確認のうえ来室してください。